

## 達成状況評価書(平成25年度)

部局名:蛋白質研究所

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 特になし。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成25年度は、共同利用・共同研究拠点の事業の一環として国際共同研究を11件行ったほか、2名の准教授が米国 Rebeiz 財団による賞を受賞するなど、大学の実績として評価できる。 また、「生命分子素子から生命システムの全体像を解き明かす多次元国際研究」において新規技術開発に成功し、その成果が主要な科学ジャーナルに公表されるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成25年度は、先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業の一環として、平成24年度補正予算の設備整備費により処置された高磁場・感度固体NMRを中心とした装置群の設置・運用が平成25年度に完了し、産業利用プログラムをスタートさせるなど、適正に実施している。また、共同利用・共同研究拠点に対する中間評価においてA評価を受けるなど、研究成果が上がっている。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p><b>【年度計画の達成状況】</b> 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成25年度は、所長補佐会議などで事務組織の機能や編成を検証し、事務長を中心とした業務効率の改善策を積極的に行い、職員の残業の減少につなげている。また、運営協議会ならびに専門委員会で外部委員から研究所の運営、及び共同研究・共同利用に関して評価を受けるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p><b>【中期計画の達成状況】</b> 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成25年度は、共同利用・共同研究拠点の事業の一環として国際共同研究を11件行ったほか、「生命分子素子から生命システムの全体像を解き明かす多次元国際研究」の成果が主要な科学ジャーナルに公表され、その内容はテレビや新聞各紙に取り上げられるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>